

# 初級 地域公共政策士

初級地域公共政策士では、資格教区プログラムのテーマに合わせて、プロジェクトスタッフやサブリーダーとしての実践的「能力」の獲得を目指します



社会を動かす力を身につける。

## 資格教育での主な学習要素



地域政策から、社会問題のあり方を知る。



地域資源のあるもの探しと活用。



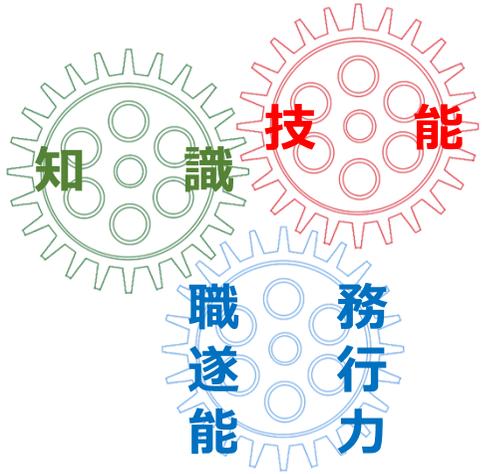
政策的思考を通じたコミュニケーション能力



政策現場での実践から課題を解いていく。

# 初級地域公共政策士の特色

## 特色1：どんな力が身につくの？



「地域公共政策士」は、資格教育プログラムから地域公共政策士に求められる知識・技能・職務遂行能力の3つの能力を適切に組み合わせて実行できる力を身につけていきます。

体系化されたプログラムから3つの能力を総合的に学習サイクルしていくことで、社会活動の中で使える能力を120時間程度の学習から身につけていきます。

プログラムや科目に設定されている地域公共政策に関する社会課題に向き合いながら、チームワークやプレゼンテーション力などのプロジェクトを動かしていく能力を身につけていきます。

初級地域公共政策士では、プロジェクトスタッフやサブリーダーとしての実践能力の獲得を目指します。

## 特色2：初級地域公共政策士の学習アウトカム

初級プログラムは、次のような知識、技能、職務遂行能力を養成するために作成されています。プログラムを通じて養成される能力を学習アウトカムといいます。

初級地域公共政策士

知識	地域社会における様々な課題の背景や文脈を理解できる。	総合的な到達目標  地域課題に対応した業務を主体的に判断して遂行できる能力の獲得。  (プロジェクトスタッフ、サブリーダーレベル)
技能	複雑な課題に対して、具体的な解決方法を提起できる。	
職務遂行能力	特定のプログラムや課題について、業務を主体的に運用することができる。	

※「地域公共政策士学習アウトカム定義」より文言を一般化しています。  
※各プログラムでは、テーマ・内容に応じた具体的な学習アウトカムが設定されています。

## 特色3：資格教育プログラムでの学び

初級プログラムは、特色2の学習アウトカムを踏まえて、政策テーマやプログラム実施機関の特色を活かして、よりテーマ性の高いプログラムが作られています。また、テーマに応じたアクティブラーニング（※初級プログラムでは現場での実践活用が必ずプログラムの教育に含まれています）を通じて社会課題の現場に触れることで、実践的な能力が養成されます。



資格取得プログラム一覧  
(分野別)

政策系

- 政策基礎力プログラム
- 政策能力プログラム（基礎）
- 法政策基礎プログラム

地域政策系

- 都市政策基礎能力プログラム
- 環境政策基礎能力プログラム
- 京都学教育プログラム

地域企業系

- グローバル人材プログラム

地域振興系

- 地域経営人材育成基礎プログラム
- 地域振興能力養成プログラム
- 地域マネージャー養成プログラム

文化政策系

- 文化コーディネーター養成プログラム
- 文化プロデュース力養成プログラム

※プログラムの分類は、認証時に確認した内容からCOLPUが分類しました。  
※科目体系性やプログラムの修了要件は、プログラムごとに異なります。  
※必死科目、選択科目などの設定がプログラムごとにされている場合があります。

## 特色4：資格認定で身につけた能力の証明

初級プログラムを修了すると、初級地域公共政策士として認定されます。資格教育プログラムで身につけた能力や経験を初級地域公共政策士として申請し、キャリアパスとして活用して下さい。

初級地域公共政策士の記載方法

初級地域公共政策士[〇〇プログラム修了]  
(認定番号：F15-00××)

英表記：Certified Manager of Public Policy(basic)



名刺での使用例



資格取得者一覧 <http://www.colpu.org/colpu-biz7.html>

※本資格認定には、資格申請の手続きが必要です。  
※HPで公開している資格取得者情報は、希望を確認したのちに掲載をしています。

「地域公共政策士」は一般財団法人地域公共人材開発機構が商標登録をしています。〔商標登録番号〕第5695640号

資格制度に関するお問合せ先

一般財団法人 地域公共人材開発機構

〒600-8492

問い合わせ：info@colpu.org

京都市下京区四条通新町東入月鉾町52番地

イヌイ四条ビル flag四条

2017年9月発行